

▶中学生ボランティア募集中

高西交流館では、夏休み子ども講座の企画・運営を手伝ってくれる中学生ボランティアを募集しています。講座中、小学生の様子を見守ったり、声をかけて一緒に作業をしてもらったりするお手伝いです。また、「こんな講座をしたら楽しいかも」というアイデアがある場合は、一緒に企画を練っていきましょう。

夏休み子ども講座は3日ありますが、1日だけの参加もOKです。打ち合わせは7月頃に行います。少しでも気になった方、ぜひお気軽に交流館までお問い合わせください。

対象：中学生

内容：講座に参加している小学生の見守り、手伝い

期間：7月頃打ち合わせ

8月講座開催（3日間）

締切：6月16日（月）



Information

▶避暑室開放について



高西交流館では、2F図書室を毎週火曜日に開放しています。

事前の使用申請などは必要ありません。ご自宅であまりエアコンを使いたくない方、お散歩の途中で涼みたくなった方、涼しい部屋で時間を潰したい方など、どなたでもお気軽にご利用ください。また、火曜日以外でも交流館付近で体調を崩した際は、ご遠慮なくお立ち寄りください。

▶YuruLiのオススメ書籍



せいめいのれきし

バージニア・リー・バートン(文/絵)いしいももこ(訳)まなべまこと(監修)

地球が生まれてから今この瞬間までの、長い長い命のリレー、その壮大な物語。

名作絵本『せいめいのれきし』を、現在の知見をもとに本文を改訂。遠い昔から続く、はてしない時のお芝居。次の主人公はあなたです！

交流館のほっこりコラム 第1回

▼あじさい、日本と海外ではどう違う？

梅雨どきの風物詩として親しまれているあじさい。日本では雨に濡れた姿がしっとりと美しく、季節の風情を感じさせてくれますね。

実はこのあじさい、日本原産の花だということをご存知でしたか？

江戸時代に日本を訪れたシーボルトがオランダに持ち帰り、そこから世界へと広まっていったそうです。ちなみに、彼が「おたくさ(Otakusa)」と名付けたあじさいは、恋人だった日本女性・お滝さんにちなんでいるとか……ちよっぴりロマンチックなお話ですね。

さて、日本では「梅雨＝あじさい」のイメージが強いですが、海外では少し違った印象をもたれることも。たとえばヨーロッパでは、あじさいは「誇り」「冷たい心」といったネガティブな花言葉で知られることもあり、贈り物としてはあまり使われないうそです。

それでも近年では、日本のように「庭を彩る花」として人気が高まり、ガーデンングや街の景観づくりにも使われるようになってきました。

同じ花でも、文化が違えば見え方も変わる——そんな小さな発見を、梅雨のあじさいと一緒に楽しんでみませんか？